

地域の気候・風土そのものの「味」を楽しんで 伊場ファーム（浦幌町）



白花豆の支柱立て作業

◇【取組の経緯と概要】

- ◆ 平成20年、収益性を改善しようと、白花豆の栽培に取り組む。当初の作付面積は0.5haであったが、現在の面積は約5haと、北海道内でも有数の規模を誇る。
- ◆ 平成21年、不耕起栽培を取り入れたことで排水が良くなり、農作物の収穫量が増加した。
- ◆ 平成25年、肥料や農薬などの資材が高騰したことに伴い、有機栽培の管理方法を導入。大豆1.2haから始めて、小麦、スイートコーンにも広げ、現在の面積は、2.5haへ拡張。平成28年に有機JAS認証を取得。
- ◆ 平成29年、消費者とのつながりを求めて、道東自動車道の上浦幌パーキングエリアで開かれている野菜直売会に参加。平成30年にはインターネット販売に取り組む。

【取り組む際に生じた課題と対応方法】

◇ 経費の削減と環境への配慮

⇒ 化学肥料や農薬については、北海道における使用量の基準に対して5割低減を図り、緑肥作物や除草カルチ技術などを導入。結果として、「持続性の高い農業生産方式」を取り入れる「エコファーマー」の認定を受ける。

◇ 白花豆の品質の向上と収量の確保

⇒ 品質を向上させて収量を確保するためには、豆の株間を均等にし、株間の通気性と日当たりを確保することが重要であることから、アルバイトを雇用して、手作業で種まきを実施している。

【組織等の概要】

- 代表者：伊場 満広
- 所在地：北海道十勝郡浦幌町恩根内79番地3
- 従事者：家族3名(アルバイト5名(繁忙時10名))
- 経営規模：35ha
- 主な農作物：
 - 畑作物(小麦、てん菜、ばれいしょ、豆(大豆、小豆、金時豆、手亡豆、白花豆、黒花豆ほか))
 - 野菜(スイートコーン、タマネギ)
- 有機認証取得作物
小麦、大豆、スイートコーン
- URL： <https://www.ibafarm.com/>



開花した白花豆

【取組の成果】

● 生産する白花豆の高収量化

令和元年産の白花豆の10a当たりの収量は277kgで、平成30年産の花豆の道内平均(176kg)を大きく上回る。令和元年度の全国豆類経営改善共励会の「小豆・いんげん・落花生等の部」で最高賞の農林水産大臣賞を受賞。



袋詰めされた白花豆

● 生産した農産物への評価向上

令和2年4月、生食用の有機栽培スイートコーンが、浦幌町のふるさと納税返礼品に加わった。



有機栽培スイートコーン

【活用した支援施策】

- 環境保全型農業直接支払交付金
- 畑作物の直接支払交付金

【今後の展望】

- 効率の良い作業体系を確立し、地域の若い農業者にも生産の輪を広げ、白花豆の産地化を図る。
- 土との共存を図ることによって、農作物が健全に育つことを意識し、有機栽培面積を拡大する。